

北海道の広報紙「ほっかいどう」がウェブ版で読めます

北海道発行の広報紙「ほっかいどう」が、北海道庁のホームページで今年度からウェブ版（html版）で読めるようになりました。パソコンやスマートフォンから手軽にご覧ください。また、電子書籍ポータルサイト「Hokkaido ebooks」でもご覧になれます。

※「Hokkaido ebooks」をスマートフォン・タブレットでご覧いただく場合は専用アプリが必要です。

●詳細 北海道総合政策部知事室広報広聴課 ☎011-204-5110

広報紙「ほっかいどう」



電子書籍ポータルサイト
「Hokkaido ebooks」



★市長だより★ 50



新型コロナウイルスの感染状況について、厚生労働省のコロナ対策を助言する専門家組織から、先月「全国各地で災害レベルの状況にあるとの認識での対応が必要」との見解が示されたほか、北海道については、「感染の拡大が継続する可能性があり、8月下旬には1日当たりの新規感染者が900人前後に達する恐れがある」との指摘や、近隣の旭川市や空知管内では岩見沢市を中心に感染拡大が相次いでいるなど、本市としても一層警戒を強めながら対策にあたるとともに、市民の皆様、医療機関並びに関係者の皆様のご協力のもと、引き続き、ワクチン接種の円滑な実施に注力していかなければならないところです。

芦別では、7月13日から8月8日まで記録的な真夏日が連続27日間続き、31日には、これまでの最高記録を更新する37.2度まで上がるなど、さまざまな影響や被害が発生しました。

わけても、熱中症により13人の人が救急搬送（昨年6件）され、このうち高齢のお一人がお亡くなりになりましたという残念な事態となりましたことに、謹んで哀悼の意を表させていただきます次第です。

畑作等の農作物についても、降雨量の減少による水不足のため、馬鈴薯や南瓜等が全般的に小玉傾向で、収量の減少や市場価格への影響が危惧されるそうです。

また、渇水によるダム貯水量の減少や河川水温の上昇から水道水に力ビ臭が発生したことで、市民の皆様が大変ご迷惑、ご心配をおかけすることとなりました。

この解消のため、浄水場において、活性炭等の注入量の増加や配水管の末端部分で排泥作業を行うなど、早期改善に努めたところですが、解消まで一定の時間を要せざるを得ないことに、改めてご理解を賜りたいと存じます。

市内でヒグマの出没が例年になく



「合宿の里推進協議会総会」を開催し、コロナ禍から合宿誘致活動の推進に向けて、今後を見据えながら誘致に向けた対応や取組み等について協議を行いました。

多発しています。4月7日に最初の目撃情報が寄せられてから、これまで60件を超え（8月23日現在）、芦別猟友会の協力を得ながら、銃器や箱わな等の設置により、8頭の捕獲（駆除）を行っておりますが、個体数の増加も見込まれ、交通安全上や人畜への被害が決して及ばぬよう、地域の約8割を占める国有林内では銃器発砲が認められていない現状から、有害鳥獣駆除に限定する等により銃器発砲の許可を、北海道森林管理局はじめ関係機関等に対し広域的な取組を含め、早急な対策の強化について要請を行ったところです。

定例市議会が9月9日に招集されます。補正予算や市外への人材流失の抑制と市内企業の人手不足が依然として続く中、本市へのU・I・Tの推進、雇用の安定や定住の促進のため、ふるさと就職奨励金の増額や奨学金の返済支援措置制度などを盛り込んだ関係条例の改正などの提案のほか、議員皆様からの一般質問等に加え、令和2年度各会計決算審査が行われますことから、これらの議論を通じ、さらなる市政の進展につなげられるよう努めてまいります。

夏の疲れが出やすい頃でもありますので、市民皆様にはくれぐれもご自愛のうえ、ご健勝でお過ごしください。

芦別市長 萩原 貢